

## アジア9か国の大学生が、フィールドワークを通じて生物多様性について学びます 第7回「アジア学生交流環境フォーラム (ASEP)」をマレーシアにて開催

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)は、8月1日(水)より5日間、第7回「アジア学生交流環境フォーラム (Asian Students Environment Platform、以下、ASEP)」をマレーシアで開催します。

当財団は、ASEPにおける活動を通じて環境分野において、グローバルなステージで活躍する人材の育成を重要な事業のひとつとして位置付けています。2012年にスタートした本フォーラムは、毎年1カ国1大学を加えながら実施しており、本年はミャンマーのヤンゴン経済大学を新たに迎え、9カ国9大学72名の大学生が「熱帯雨林からの贈りもの」というテーマのもと、クラルンプル近郊にてフィールドワークを行います。

イオンマレーシア(株)がホタルの生息地の確保と繁殖を目的とした植樹活動を行っているセランゴール州にて、実際に植樹活動に参加しながら生物多様性について学習します。また、マレーシア森林研究所においては熱帯雨林の特徴、役割について学びます。フィールドワークを通じ、熱帯雨林の環境や生態系の問題を考えるとともに、自然と人間の共生や持続可能な社会の取り組みについて理解を深め、最終日には「熱帯雨林との共生、次代への継承」について提言を行います。

当財団は、今後もいのちあふれる美しい自然を次代に引き継ぐため、環境教育をはじめとする環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

### 記

1. 開催日程： 8月1日(水)～8月5日(日)
2. 開催場所： マレーシア クアラルンプル近郊
3. 主催： 公益財団法人イオン環境財団
4. 協力： 早稲田大学、マラヤ大学(マレーシア)
5. 参加校： 王立ブノンペン大学(カンボジア)、清華大学(中国)、インドネシア大学(インドネシア)、早稲田大学(日本)、高麗大学校(韓国)、マラヤ大学(マレーシア)、ヤンゴン経済大学(ミャンマー)、チュラロンコン大学(タイ)、ベトナム国家大学ハノイ校(ベトナム)
6. 後援： 在マレーシア日本国大使館、国連生物多様性の10年日本委員会、毎日新聞社、中国青年報、朝鮮日報社、トイチェ社、コンパス紙
7. 出席(予定)
 

<p>開講式： エネルギー・環境技術・気候変動・環境省 在マレーシア日本国大使館 在マレーシアカンボジア王国大使館 マラヤ大学 公益財団法人イオン環境財団 イオン株式会社</p> <p>閉講式： マラヤ大学 イオン株式会社</p>	<p>局長 特命全権大使 特命全権大使 副学長 専務理事 アセアン事業担当 ダイレクター アセアン事業担当</p>	<p>モハメド アザール ビン ハジ ヤハヤ様 宮川 眞喜雄 閣下 ラス マニ 閣下 ファイサル ラフィックス マムド アディカン様 林 直樹 鷲澤 忍 ノルズラーニ カリッド様 鷲澤 忍</p>
---	---	--
8. 主なプログラム：
 

<p>8月2日(木) 開講式(マラヤ大学)</p> <p>8月3日(金) 植樹(セランゴール州螢生息地)、マレーシア森林研究所フィールドワーク、イオンシャールム店視察、専門家による講義</p> <p>8月4日(土) マングローブ視察(シガンジャヤ)、マレーシア伝統・文化鑑賞</p> <p>8月5日(日) 成果発表・閉講式(マラヤ大学)</p>
--

以上

ご参考

<2012年～2017年 ASEPの活動について>



第1回(2012年:日本)  
テーマ:「文化から環境を考える」  
中国、日本、韓国の3カ国60名が参加



第2回(2013年:韓国)  
テーマ:「環境と人間」  
中国、日本、韓国、ベトナムの4カ国79名が参加



第3回(2014年:中国)  
テーマ:「水と人」  
中国、日本、韓国、マレーシア、ベトナムの5カ国80名が参加



第4回(2015年:ベトナム)  
テーマ:「生物多様性と人」  
カンボジア、中国、日本、韓国、マレーシア、ベトナムの6カ国72名が参加



第5回(2016年:日本)  
テーマ:「生物多様性と叡智(えいち)」  
カンボジア、中国、日本、韓国、マレーシア、ベトナム、インドネシアの7カ国84名が参加



第6回(2017年:日本)  
テーマ:「生物多様性と再生」  
カンボジア、中国、日本、韓国、マレーシア、ベトナム、インドネシア、タイの8カ国64名が参加

<イオンのマレーシアにおける環境・社会貢献活動の取り組みについて>

● 植樹活動

当財団は2004年から2009年の期間、マレーシアのセランゴール州パヤインダーウエットランドにおいて合計約6万本の植樹活動を実施しました。また、2014年より同国ペラ州ビドーにおいて、鉱山開発により荒廃した台地を熱帯の森に再生することを目的に植樹を実施し、これまでに約8,000本の植樹を実施しています。サバ州東マレーシア ラハドダトゥにおいてはオランウータンの生息地で、オランウータンの餌となるマンゴーなど、2年間で4種800本を植樹しました。マレーシア国内での植樹本数は約69,000本を超えます。

● イオンスカラシップ(※公益財団法人イオンワンパーセントクラブ主催)

日本で学ぶアジアからの留学生及びアジア各国の大学生に奨学金を付与する「イオンスカラシップ」では、これまでに7カ国5,675名の大学生に奨学金を支給しています。マレーシアでは2007年より「イオンスカラシップ」を開始し、これまでにのべ562名(日本で学ぶ留学生)に奨学金を付与しています。

● アジアユースリーダーズ(※公益財団法人イオンワンパーセントクラブ主催)

参加高校生・大学生が開催地の社会問題の解決に向けてディスカッションするプログラムです。異なるバックグラウンドを持つインドネシア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシアの6ヶ国の学生たちが社会問題への解決策を模索します。マレーシアの学生は2013年から56名参加しています。

● ティーンエイジアンバサダー(※公益財団法人イオンワンパーセントクラブ主催)

1990年より実施している高校生の国際交流事業「ティーンエイジアンバサダー」において、日本とマレーシアの高校生が1990年、2001年に参加し、交流を深めました。小さな大使(アンバサダー)として、両国の政府、大使館への表敬訪問、授業体験やホームステイを通じて価値観の多様性を学び、相互理解を深めています。